

仙台YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.352.2023



仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



2023年7月27日発行

公益財団法人仙台YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人/加藤雄一
編集人/松島晃子



Water Safety

夏本番を迎え、気温が高くなると海や川など水場でのアクティビティーが増えてきます。しかし、楽しさの側には命を落とすような危険が潜んでいることを忘れてはいけません。特にこの時期は、水の事故が全国的に増加します。

YMCAでは、水難事故で尊い命が奪われる事がなくなるようにウォーターセーフティーキャンペーン活動を行っています。仙台市教育委員会、他より後援をいただき、全国のYMCAで作成したウォーターセーフティーハンドブックの配布を仙台市の小学1年生を中心に実施しています。海や川、湖やプール、様々な場所で活動する際の注意点や、もし事故が起こった時の対処法などを記載したハンドブックになります。

(第2面に続く)

一般会員・サポート会員を
随時募集中です

ぜひ会員として、
仙台YMCAの活動をお支えください
お問い合わせ:本部事務局

TEL:022-222-7634
FAX:022-222-2952

また、YMCA西中田こども園・YMCA南大野田こども園・YMCA加茂こども園・YMCA長町保育園の年長組園児と仙台YMCA幼稚園の園児を対象に、着衣泳講習会を実施しました。

川や湖で溺れる事故は衣服を着用している時に起こることが多く、突然水に落ちると、びっくりしてパニックになり、同時に水を含んだ服の重さによって状況を悪化させ、溺れる原因になっています。

YMCAの着衣泳指導では、「衣服を着たまま水の中に入るとどうなるか？」を実際に体験してもらおう事を目的とし、万が一、落ちてしまった時でも慌てずに行動することが大切ということを伝えています。

YMCAジュニアクラブではレギュラー（通年）クラスでスイミングを行っています。指導の中で水上安全につながる練習を取り入れています。大切なことは水に落ちて慌てずに水面に上がることや呼吸をすることです。水に潜り目を開けて脱力すること、水泳での呼吸法の鼻から息を出して口で息を吸うポビング、仰向けで水面に浮かぶ姿勢の練習で自分の命を守る術を身につけていきます。（全て子どもたちの泳力に合わせて行います。）

夏休み前には短い時間ではありますが、クラスの中で水上安全講習を実施しました。危険なところには近づかない、海や川、プールなど水辺での活動では大人と共に行動すること、溺れている人を見つけ



た時には、自分で助けに行かず、大人に助けを求めることなど、自らの尊い命を守るために大切なことを伝えています。皆さんが自分の身を守り、安全に活動することを心掛け、かけがえのない命を尊重しながら楽しく夏を過ごしてほしいと願っています。

健康教育事業部：増山和憲

連載

加藤 総主事の

『みつかる。つながる。
よくなっていく。』

第3回

「仙台平和七夕」と祈り



平和を祈る「仙台平和七夕」が48年目を迎えています。YMCAで作業する人々の中に高校生の姿も多く見られ、活動の広がりを実感できます。仙台七夕の期間、中央通りをはじめ、YMCAや石巻イトーヨーカドーあけぼの店、教会などで千羽鶴でできた平和七夕の飾りを見ることができます。一人ひとりの「祈り」によって折られた鶴に平和を実現する力が詰まっています。

「祈り」には、力があります。祈りは一人ひとりで行いますが、その祈りによって人々の思いが繋がります。祈りが合わさったとき、その祈りの実現のために、不思議な力が働くのです。

平和はどうでしょう。戦争はなくなるでしょうか。ルターは、「私たちは祈りに対して誠実でなければならない。」と語っています。嘘偽りのない真剣な祈りが不思議な力を導き出すのです。一つ一つの鶴は、真剣な祈りの固まりです。みなさんもぜひ仙台平和七夕を見に行き、共に戦争のない平和な世界を祈っていただきたいと思います。

小林 美緒（ホテル科2年）

オープンキャンパスのボランティアを通して、昔の自分を思い出し初心に帰ったりいらっしやる学生さんの熱意を感じたりと自分にとって良い刺激になりました。

オープンキャンパスは12時30分から受付が始まり16時頃に終わるので11時に集合し準備を始めます。具体的には、テーブルにクロスを敷いてレストランのテーブルのセッティングをしたり、お茶会で出すグラスやお皿を洗ったり、近くのケーキ屋さんでケーキを買い出しに行きます。休憩を30分はさんだ後、校門に立ってお出迎えをして教室まで案内をします。このとき、学生さんが不安に思わないよう簡単な会話をすることを心掛けていました。全員揃ったら自己紹介と校長先生からYMCA全体や専門学校についての説明があります。次の体験授業では、講師の先生が実際の現場で使うお皿の持ち方やサーバーの使い方を教えてくださいます。様々なホテルで働いた経験のある先生なので、豊富な知識を生かして実のある話もして教えてくださいます。次の英語もとても勉強になる授業です。日本人にとって難しい発音でもわかりやすく教えてくださいます。発言する授業なので飽きずに学ぶことができます。この授業の間に裏ではお茶会の準備をします。授業が終わったらテーブルをセッティングしドリンクとケーキを配ります。このとき、学生さんにサービスの仕方を見せるため学んできたことを生かしながら行います。お茶会では雑談を交えながら質問に答えていきます。そして16時ごろに終了し、お見送りをします。片付けはテーブルのリセットや食器の洗い物です。

オープンキャンパスは何度も経験しましたが、来てくださる学生さんの熱意が特に印象的でした。ホテルについてよく調べているということが雑談で分かりましたし、特に長期実習について興味があるように思いました。私も経験したことを思い出しながら伝えました。この日を通してYMCAに入学してくれたら何よりうれしいと思っております。



YMCAと私

南大野田こども園

島貫 杏美（YMCA南大野田こども園/職員）



みなさんこんにちは。YMCA南大野田こども園職員の島貫杏美と申します。これを読んでいる方の中に、もしかしたら南大野田保育園を卒園した方がいるかもしれません。みなさんお元気ですか？私は元気です！先日、卒園児が保育実習に来ました。私が保育園で初めて担任をしたクラスの子でした。保育士一年目だった私を思い出すと、当時の私は、寂しい時に手をつなぎ、一緒に遊んで楽しく過ごすことしかできていなかったと思います。しかし、実習という形で卒園児と再び会うことができ、立派な大人になった姿が見られて、この仕事を続けていて良かったなと思った出来事でした。

さて、私のYMCAとの出会いは、学生の時のユースボランティアリーダーでした。友だちと向かった新しい世界。その後、職員となって働く場所になるとは、この時は想像もしませんでした。初めての世界に飛び込んでみただけのもの、子どもと向き合う中でうまくいかないこともあり、他のリーダーの姿が眩しく見えました。自分にできることは何だろうと戸惑いもありました。それでも、自然の中で過ごすキャンプは、子どもたちのまっすぐな気持ちに触れ、キャンプソングで胸がいっぱいになり、それまでのちっぽけな悩みも忘れ、またここに来たいという思いを強めてくれました。

リーダーを卒業してから南大野田に勤め、歳月が過ぎ2児の母になりました。小さい子どもがいると、自分のことは後回しになることも多く、毎日があっという間に過ぎていく日々です。そんな中、今回このような機会をいただいたことで、懐かしい自分を思い出すことができました。YMCAで出会った子どもたちから、リーダーとして、保育士として大切なことを教えてもらい今の自分がいると思っています。ここで出会えた子どもたちと、一緒に働く仲間、そして今自分らしく働けることに感謝しながらこれからも過ごしていきたいです。

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。
喜びのある生き方をすすめます。
 私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。
世界平和の実現に努めます。
 私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。
ボランティアの働きを地域社会に拡げます。
 私たちは、人と人のかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を拡げます。
子どもたちの生きる力を育てます。
 私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

4年ぶりの開催となったYMCAバザーはあいにくの雨の中ではありますが、多くの方にご来場いただき終了することができました。ここ数年間は新型コロナウイルスの影響により、バザーを中止せざるを得ない状況でしたが、5月に新型コロナウイルスが5類に分類され、様々な制約が解除されました。そして今年、例年行っていたバザーを6月11日(日)に実施することができました。仙台ワイズメンズクラブ、仙台青葉城ワイズメンズクラブ、仙台広瀬川ワイズメンズクラブ、石巻広域ワイズメンズクラブと各ワイズメンズクラブのメネット、コメットの皆さん、仙台YMCA国際ホテル専門学校の学生の皆さん、YMCA幼稚園の園児、児童館の子どもボランティアの皆さん、職員ボランティアの皆さん、YMCAバザーに物品寄贈いただいた皆様、そして当日お越しいただいた来場者の皆様、多くの方にご協力いただき、YMCAバザーが無事開催できました。当日には来場者、ボランティアを含め500名を超える人が立町に集い、**741,363円**の益金を集める事ができました。この益金は①青少年育成支援、②子ども支援基金、③障がい児支援に充てさせていただきます。皆様のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

Column

仙台YMCAインターナショナルチャリティーラン実行委員長 加藤 研

「チャリティーラン、やりましょう！」



9月23日緑に囲まれた、富谷市総合運動公園グラウンドで4年振りに開催されます。

観客席も放送施設もないシンプルな会場ですが、実行委員の面々は周知の為の案内書作成、備品確保、マスコミへの対応、スタッフの役割分担、当日のコース作りから、テント設営、晴天時の日陰作りの心配、雨天時の対応等々、嬉々として知恵を絞り準備に勤しんでいます。

YMCAが「富谷市児童クラブ運営」を始めて久しくなりますが、仙台市の枠を超えてスタッフが常駐する希なケースとなりました。行政の皆さんの親身なご指導とYMCAスタッフの献身的な働きによって、友好的な関係を構築しています。「仙台YMCAの使命」には「東北の地にその想いを広げる」とありますが、久しく待ち望んだ「使命」の実践となっています。

「やれば人は集まる。やらねば誰も集まらない。だからやりましょう！」大切にしたいのは「心意気」です。「YMCAの魅力」を発信する好機です。これを機会に県内のいたるところで「出前のチャリティーラン」が出来たらいいなあ、とも望んでいます。

「障がいのある子どもたち」はもちろん、すべての方に「笑顔」と「希望」をお届けできるよう頑張ります。末筆になりますが、「ナショナルスポンサーの三菱商事様」「惜しみなく協賛・協力下さる、さとう音楽事務所様」そして「仙台YMCAに繋がる企業・団体・個人の皆様」以前にも増してのご支援・ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

ワイズコーナー

「アレキサンダー奨学基金 (ASF) とYMCA」

ワイズメンズクラブは昨年創立100周年を迎えました。そして今年も7月1日より新しい年度がスタートしました。ワイズメンズクラブ国際協会はYMCAを支援するためにさまざまな事業を展開しておりますが、今回はアレキサンダー奨学基金（略称：ASF）についてご紹介します。

この基金は1954年、米国ミシガン州ランシングで開催されたワイズメンズクラブ国際協会・国際大会においてスタートしました。国際協会の創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事の肖像画を有名画家に描いてもらうために募金が行われたのです。しかし、彼は「もったいない」と思い、より安く済む、有名な写真家による肖像写真とすることにしました。そして、募金の残りの約900ドルは、このワイズメンズクラブ国際協会のプログラム立ち上げのために使われました。

以来69年間、ASFは、主にYMCAスタッフやYMCAにつながる青少年のための奨学金や研修プログラムを提供し、世界各地のYMCAを財政的に支援しています。例えば、近年では若いYMCA会員が地域社会の変革者となるための「チェンジエージェント」活動の支援、2019年8月にロンドンで開催されたYMCA175周年記念式典の支援、新型コロナウイルスの流行によって困窮している世界各地のYMCAを支援するための「YMCA連帯基金」への拠出などに使われています。ASFは、ワイズメンズクラブとYMCAとの密接な関係の証となっています。

※この内容はワイズメンズクラブ国際会長ニュースから一部転載させていただきました。

清水 弘一

第29回 仙台YMCA
インターナショナル・チャリティーラン2023

2023年 9月23日(土・祝)

場所：富谷市総合運動公園グラウンド

参加申込期限 2023年9月9日(土)

お問い合わせ：022-222-7533

Email:run@sendai-ymca.org

Fax：022-222-2952

担当：佐竹辰太郎

維持会費 (5月21日～7月21日)

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

維持会員A

吉田 一恵	竹谷智恵子
村田 洋子	松田 美彰
神原 雅子	野村 宏
尾木 恵美子	光永 尚生
尾木 進一	
布宮圭子	

維持会員C
工藤 正剛

パトナ会員A
阿部 頌栄

※敬称略